

アジア養豚獣医学会で優秀ポスター賞受賞！

アジアの養豚獣医師が集う第4回大会は10月26日から28日までの3日間、茨城県つくば市で開催されました。昨年まで開かれていた国際養豚フォーラム(アメリカ、デンマーク、韓国、日本の生産者が状況報告するもの)が同時開催されることもあり、1300名ほどの国内外の人たちで盛況に終わりました。世界をリードする動薬メーカーの大変なご苦勞で招待を受けたアジア各国の養豚獣医師たちが、有意義なひと時を過ごすことができたものと期待いたします。

獣医師の集まりなのでしかたありませんが、あくまでも疾病が最大の関心事であり、生産データや栄養、生産管理についてのトピックスは少なく、生産者不在という印象を強く持ちました。口蹄疫や豚コレラに困っているアジア諸国の人達には良かったかもしれませんが、同時開催のセミナートピックスはプログラム修正が必要です。

弊社では、3つのトピックスを報告いたしました。

- 1) 日本で初めて調査された回腸炎 ELISA 抗体検査による知見(ポスター)
- 2) 22農場で行なったサーコワクチンの効果検証(ポスター)
- 3) 離乳日令を延長による飼料コストの削減(口頭)

この準備作成については、バーリンガーインゲルハイムベトメディカジャパン株式会社様のひとかたならぬご協力のおかげで、無事終了しました。

そんな中で多数のポスター発表の中から、内容構成などで優秀なものに与えられるポスター優秀賞をいただきました。



ポスター賞の授賞者たち(弊社獣医師は右から3番目)



口頭発表をする弊社の獣医師

日頃の農場コンサルの成果を報告することは、非常に有意義なことでした。